

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和 2 年度採択）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
2020-4	ダブル連結トラックおよび貨物車隊列走行を考慮した道路インフラに関する技術研究開発	東京海洋大学 教授 兵藤 哲朗	A
<p><研究の概要></p> <p>車両数の継続的な増加が見込まれている全長 23m 超のダブル連結トラックや、数年後の商用化が期待される隊列走行について、SA/PA における駐車場確保の問題や、走行区間延伸の課題が懸念されている。さらには、連結・解除を行う拠点の配置や規模、機能についても十分な分析がなされているとは言えない。本研究では、これらの課題について、先進的な実データも用いた定量的分析を加え、道路インフラが備えるべき将来像を提示することを最終目的とする。</p> <p><中間評価結果></p> <p>重要かつ喫緊の社会的課題について、現地調査やヒアリングと数理モデルを組み合わせ、現場感覚と理論研究の両面から包括的な検討を順調に進めており、成果が期待できることから、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ul style="list-style-type: none">・ダブル連結トラック導入意欲の低さによる、ダブル連結等に対応するインフラ整備への影響について留意して研究を進めていただきたい。・研究成果が SDGs の観点からどのように貢献できるかについても可能であれば検討いただきたい。			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第 42 回新道路技術会議において審議したものである。